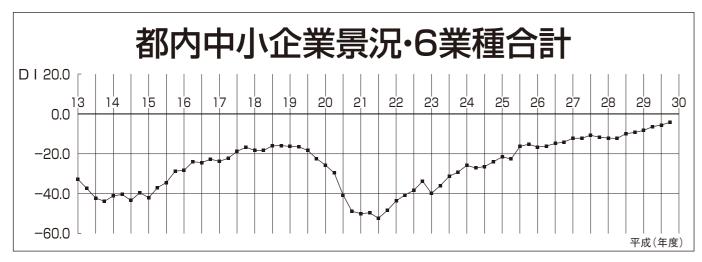
景況調査結果 1月~3月期

製造業、明るさ見える。~来期は不動産業以外の5業種で改善を予想~

	衣人	- 大、	明ると	76/		不知	は个判例	エ末以フ	アリン未		三.6		
東京都2月の企業倒産	日銀短観	全国の景況	業況、売上額、収益、価格動向都内中小企業景況調査	調査員のコメント	業況、やや好調感強まる。	業況、前期並の良好感続く。	業況、前期同様の厳しさ続く。	業況、水面下ながらわずかに持ち直す。	業況、前期同様の厳しさ続く。	業況、水面下ながらやや明るさが見える。	都内中小企業景況調査概況	「経営者の健康管理と事業の継続について」…2	特別調査
16	15	15	11	8	不動産業…フ	建 設 業 :: 6	サービス業…5	小売業…4	卸売業…3	製造業…2		フいて」…2 12	



業況判断DI(季節調整済、「良い」企業割合-「悪い」企業割合)は-4.2(前期は-5.6)と前期に比べ1.4ポイント改善した。業種別に見ると、不動産業でやや好調感が強まり、製造業で水面下ながらやや明るさが見え、小売業で水面下ながらわずかに持ち直した。

来期は、建設業で強含み、製造業・卸売業・サービス業で明るさが見え、小売業で厳しさが和らぐと予想している。

			前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製	造	業	-4.5	-2.3	2.2	-0.2	2.1
卸	売	業	-6.7	-6.3	0.4	-2.2	4.1
小	売	業	-22.2	-20.0	2.2	-17.5	2.5
サ	ービ	ス業	-5.3	-6.0	-0.7	-4.3	1.7
建	設	業	13.3	13.2	-0.1	15.3	2.1
不	動	産 業	8.0	10.6	2.6	9.6	-1.0
総		合	-5.6	-4.2	1.4	-2.1	2.1

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額はわずかに減

価格面では、販売価格は変動なく推移し、仕入価格はやや

業種別に見ると、「機械器具 | はやや好調感が後退し、「鉱

物・金属材料」は前期同様変化がなかった。「化学製品」はか

なり明るさが見え、「繊維・衣服」は水面下ながらかなり上向い

た。「建築材料」は水面下ながらわずかに厳しさが和らぎ、「食

来期の業況は水面下ながら持ち直すと予想している。売上

●製造業

業況は水面下ながらやや明るさが見えた。売上額・収益は 前期同様変化なく、受注残は若干増加に転じた。

価格面では、販売価格は幾分上昇に転じ、原材料価格は やや上昇が強まった。

業種別に見ると、「電気機械」はかなり良化し、「精密機械」「輸送用機械」「一般機械」はやや前期を上回った。「建設用金属」は前期同様の良好感が続き、「プラスチック」はわずかに前期を下回った。「ゴム製品」は若干好転し、「プレス・めっき」「化学工業」「食料品」は前期同様変化がなかった。「繊維・衣服」「木材・家具」は水面下ながら大きく持ち直し、「金属製品」「印刷関連」は水面下ながら多少改善した。「紙・紙加工品」「皮革関連」は前期同様の厳しさが続いた。

来期の業況は水面下ながら改善すると予想している。売上額は良好感を強め、受注残・収益は今期同様の水準で推移するとみている。

●小売業

業況は水面下ながらわずかに持ち直した。売上・収益はや や減少に歯止めがかかった。

価格面では、販売価格は変動なく推移し、仕入価格は前期 並の上昇が続いた。

業種別に見ると、「ガソリンスタンド・燃料」「家電・家庭用機械」「カメラ、時計・眼鏡」は水面下ながら大きく持ち直し、「飲食店」「飲食料品」はやや厳しさが和らいだ。「繊維・衣服・身の回り品」「自転車・自動車」は前期同様の厳しさが続き、「医薬品・化粧品」「書籍・文房具」は幾分厳しさを増し、「スポーツ用品・玩具」「家具・建具・じゅう器」は大幅に深刻さを増した。

来期の業況は厳しさが和らぐとみている。売上額・収益は持ち直すとみている。

●サービス業

●卸売業

上昇が強まった。

少を強め、収益は増減なく推移した。

料品・飲食料品」はやや悪化が強まった。

額・収益は増加に転じるとみている。

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上は増減なく推移 し、収益は前期並の減少が続いた。

価格面では、料金価格はほぼ横ばいで、材料価格はやや 上昇傾向を強めた。

業種別に見ると、「情報サービス・調査・広告」はわずかにプラスに転じ、「娯楽」は水面下ながら非常に大きく上向いた。 「自動車整備・駐車場」は前期同様の厳しさが続き、「洗濯・理容・美容」はやや低調感を強めた。

来期の業況は水面下ながら上向くとみている。売上額・収益は上向くと予想している。

●建設業

業況は前期並の良好感が続いた。売上額・収益は前期同様の増加が続き、受注残・施工高はやや増加傾向を強めた。

価格面では、請負価格は前期並の上昇が続き、材料価格はわずかに上昇が強まった。

業種別に見ると、「職別工事」「設備工事」はわずかに良好感が強まり、「総合工事」はやや前期を下回った。

来期の業況は今期を上回ると予想している。売上額は堅調 に推移し、受注残・施工高・収益は今期同様の増加が続くとみ ている。

●不動産業

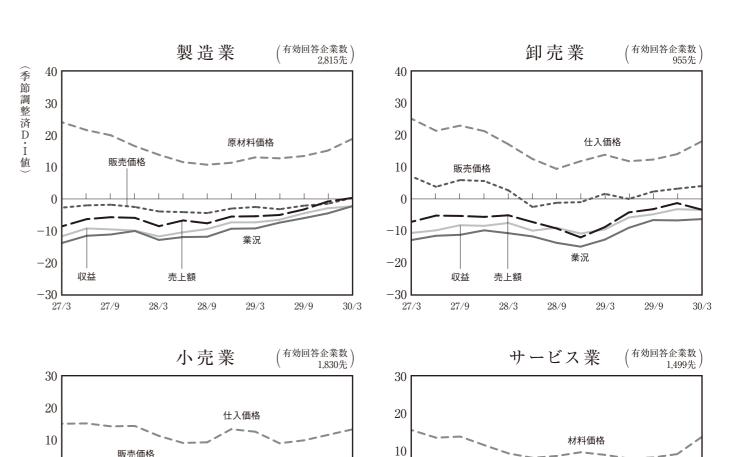
業況はやや好調感が強まった。売上額は幾分堅調に推移し、収益はかなり好調さを強めた。

に、収益はかなり好調さを強めた。 価格面では、販売価格・仕入価格ともにやや上昇傾向を強めた。

業種別に見ると、「建売・土地売買」「不動産代理・仲介」はやや良化した。

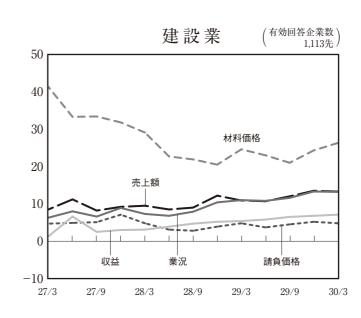
来期の業況は今期並の良好感が続くとみている。売上額・ 収益は伸び悩むと予想している。

都内中小企業の景況の推移



-20

27/3



売上額

29/3

29/9

30/3

業況

28/9

収益

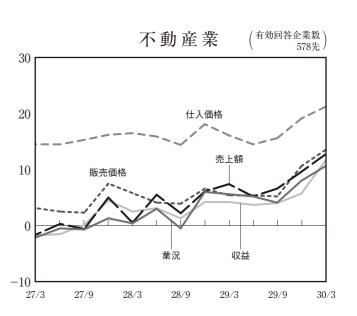
28/3

27/9

-10

-20

-30



業況

28/9

29/3

29/9

30/3

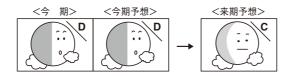
料金価格

収益

28/3

製造業

有効回答企業数 2,815先



業況、水面下ながらやや明るさが見える。

今期

業況は水面下ながらやや明るさが見えた。売上額・収益は前期同様変化なく、受注残は若干増加に転じた。

価格面では、販売価格は幾分上昇に転じ、原材料価格はやや上昇が強まった。資金繰りは前期同様の厳しさが続き、在庫は適正範囲が保たれた。

経営上の問題点では上位に変動がなく、「売上の停滞・減少」(36%)、「同業者間の競争の激化」(28%)、「利幅の縮小」(19%)の順となっている。重点経営施策では「販路を広げる」(58%)、「経費を節減する」(43%)、「人材を確保する」(17%)の順であった。

来期見通し

来期の業況は水面下ながら改善すると予想している。 売上額は良好感を強め、受注残・収益は今期同様の水 準で推移するとみている。価格面では、販売価格はほぼ 横ばいで推移し、原材料価格は落ち着きを見せると予想 している。

業種別·規模別動向



業種別に見ると、「電気機械」はかなり良化し、「精密機械」「輸送用機械」「一般機械」はやや前期を上回った。「建設用金属」は前期同様の良好感が続き、「プラスチック」はわずかに前期を下回った。「ゴム製品」は若干好転し、「プレス・めっき」「化学工業」「食料品」は前期同様変化がなかった。「繊維・衣服」「木材・家具」は水面下ながら大きく持ち直し、「金属製品」「印刷関連」は水面下ながら多少改善した。「紙・紙加工品」「皮革関連」は前期同様の厳しさが続いた。

来期は、「電気機械」「建設用金属」「一般機械」「プレス・めっき」「ゴム製品」は好調感が強まり、「精密機械」「輸送用機械」「プラスチック」は今期並の良好感が続き、「金属製品」「化学工業」は好転するとみている。「木材・家具」「皮革関連」は水面下ながら改善し、「食料品」「繊維・衣服」「紙・紙加工品」「印刷関連」は今期同様の厳しさが続くとみている。

(従業員規模別)

従業員規模別に見ると、「100~300人」規模はかなり 良好感が強まり、「10~19人」「50~99人」規模はやや前 期を上回った。「20~49人」規模は前期並の良好感が続 き、「5~9人」規模はわずかに好調に転じた。「1~4人」 規模は水面下ながら若干上向いた。

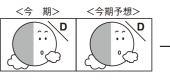
来期は、「10~19人」「20~49人」「50~99人」「100~300人」規模は今期を上回り、「5~9人」規模は今期同様変化なく、「1~4人」規模は今期同様の厳しさが続くとみている。

中分類業種別·従業員別動向(業況判断D.I季調済)

業 種 別	前期の 業 況	今期	の業況	今期 予想	来期 予想
業種合計	-4.5	-2.3		-2.2	-0.2
精 密 機 械	12 /	14	(1.1)B	13	14
輸送用機械	7 /	11	(::) ⁸	6	10
電気機械	3 /	9	(::)°	10	20
建設用金属	9 -	9	(::)°	14	19
一般機械	3 /	7 5	(::)°	10	8
プラスチック	5 \	3	(::)°	5	4
プレス・めっき	2 -	2	(1.1.)°	2	5
ゴム製品	-3 /	7 1	(::)°	1	4
金属製品	− 5 ⁄	- -2		-3	1
化学工業	-1 `	-2	(i)	9	4
食 料 品	-2 `	_3	(i)	-5	-3
繊 維・衣 服	-19 /	-9		-18	-10
紙・紙加工品	-18-	- −18		-10	-17
木材・家具	-30 /	r −21		-19	-19
印刷関連	-23 /	/ –21		-24	-21
皮革関連	-30 \	<u>-</u> 31	G	-21	-28
1 ~ 4 人	-23 <i>/</i>	r −21		-22	-20
5 ~ 9 人	-1 /	3	(::)°	2	4
10~19人	6 /	⁷ 8	(::)°	9	10
20~49人	16 /	† 17	(::)B	19	21
50~99人	22 /	7 27	(î î	28	32
100~300人	23 /	30	(în)A	35	35

(小数点第1位四捨五入)

卸売業





業況、前期同様の厳しさ続く。

今期

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額はわずか に減少を強め、収益は増減なく推移した。

価格面では、販売価格は変動なく推移し、仕入価格は やや上昇が強まった。

資金繰りは前期並の苦しさで、在庫は前期同様の過 剰感が続いた。

経営上の問題点の上位項目は前期同様変化なく、「同業者間の競争の激化」(42%)が最も高く、次いで「売上の停滞・減少」(39%)、「利幅の縮小」(19%)の順となった。

重点経営施策の上位項目は前期同様変化なく、「販路を広げる」(65%)、「経費を節減する」(44%)、「情報力を強化する」(20%)の順となった。

来期見通し

来期の業況は水面下ながら持ち直すと予想している。 売上額・収益は増加に転じるとみている。

価格面では、販売価格は変動なく推移し、仕入価格は 落ち着きを見せると予想している。

<.....業種別·規模別動向 ·······>



業種別に見ると、「機械器具」はやや好調感が後退し、「鉱物・金属材料」は前期同様変化がなかった。「化学製品」はかなり明るさが見え、「繊維・衣服」は水面下ながらかなり上向いた。「建築材料」は水面下ながらわずかに厳しさが和らぎ、「食料品・飲食料品」はやや悪化が強まった。

来期は、「機械器具」「鉱物・金属材料」「化学製品」は良好感が強まり、「食料品・飲食料品」はプラスに転じるとみている。「繊維・衣服」は水面下ながら持ち直し、「建築材料」は厳しさを増すとみている。

納入先別

納入先別では、「大メーカー」は大きく前期を上回り、「中小メーカー」は水面下ながら幾分明るさが見えた。「小売業者」は若干持ち直し、「問屋・商社」は大きく低調感を強めた。

来期は、「大メーカー」は強含み、「小売業者」は水面下ながら持ち直し、「中小メーカー」は今期同様変化なく、「問屋・商社」は今期同様の厳しさが続くとみている。

従業員規模別

従業員規模別では、「50~100人」規模はかなり良好感を強め、「10~19人」規模は前期並の良好感が続き、「5~9人」規模は水面下ながらやや改善した。「1~4人」規模は前期同様の厳しさが続き、「20~49人」規模はやや軟調に推移した。

来期は、「10~19人」「20人~49人」規模は好調感が強まり、「50~100人」規模は増勢が一服するとみている。「5~9人」規模は持ち直し、「1~4人」規模は今期同様の厳しさが続くと予想している。

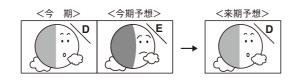
中分類業種別·従業員別動向(業況判断D.I季調済)

業 種 別	前期の 業 況	今期	の業況	今期 予想	
業種合計	−6.7 ×	' -6.3		-2.9	-2.2
機械器具	12	× 7	()°	14	14
鉱 物 ・ 金属材料	1	2	()°	-5	4
家具・建具	-14 	0	()°	-5	0
化 学 製 品	-8 /	0	()°	1	17
食料品・飲食料品	-3	- 6		-4	2
建築材料	-14	- 11	T.	-7	-14
繊 維・衣 服	−30 ^½	' -21		-20	-15
大メーカー	10 /	17	(1.1)B	25	33
中小メーカー	-5 ½	-2		-3	-1
問 屋・商 社	-1	4 –9	(1.1.)P	1	-8
小 売 業 者	-20 	- 16		-15	-10
1 ~ 4 人	-23	<u>-</u> 24		-20	-23
5 ~ 9 人	-11 ½	7 -7		-9	-2
10~19人	10 /	11	(1.1)B	19	16
20~49人	18	14	(1.1)B	22	28
50~100人	14	24	(î,î)A	20	21

(小数点第1位四捨五入)

小売業

有効回答企業数 1,830先



業況、水面下ながらわずかに持ち直す。



業況は水面下ながらわずかに持ち直した。売上・収益 はやや減少に歯止めがかかった。

価格面では、販売価格は変動なく推移し、仕入価格は 前期並の上昇が続いた。資金繰りは前期並の苦しさで、 借入難易度は前期同様の厳しさで推移した。

経営上の問題点は上位に変動がなく、第1位は「売上の停滞・減少」(43%)、以下「大型店との競争の激化」(30%)、「同業者間の競争の激化」(29%)が続いた。

重点経営施策は上位に変動がなく、第1位が「経費を 節減する」(43%)、以下「品揃えを改善する」(31%)、 「宣伝・広告を強化する」(23%)、「売れ筋商品を取り扱う」(21%)の順となっている。

来期見通し

来期の業況は厳しさが和らぐとみている。売上額・収益は持ち直すとみている。価格面では、販売価格はほぼ横這いで推移し、仕入価格は落ち着きを見せると予想している。

<.....業種別·規模別動向 ······>



業種別に見ると、「ガソリンスタンド・燃料」「家電・家庭用機械」「カメラ、時計・眼鏡」は水面下ながら大きく持ち直し、「飲食店」「飲食料品」はやや厳しさが和らいだ。「繊維・衣服・身の回り品」「自転車・自動車」は前期同様の厳しさが続き、「医薬品・化粧品」「書籍・文房具」は幾分厳しさを増し、「スポーツ用品・玩具」「家具・建具・じゅう器」は大幅に深刻さを増した。

来期は、「スポーツ用品・玩具」「家電・家庭用機械」「飲食店」「飲食料品」「繊維・衣服・身の回り品」「自転車・自動車」「書籍・文房具」は水面下ながら上向くとみている。「医薬品・化粧品」「家具・建具・じゅう器」「カメラ、時計・眼鏡」は今期並の厳しさが続き、「ガソリンスタンド・燃料」は厳しさを増すと予想している。

立地条件別

立地条件別では、「駅周辺」「住宅地隣接」「その他」はやや持ち直し、「団地内」は前期同様の厳しさが続いた。来期は、「駅周辺」「住宅地隣接」「その他」は水面下ながら改善し、「団地内」は低調感を強めるとみている。

従業員規模別

従業員規模別では、「 $20\sim50$ 人」規模は前期同様変化がなく、「 $10\sim19$ 人」規模はわずかにプラスに転じ、「 $1\sim4$ 人」「 $5\sim9$ 人」規模は幾分上向いた。

来期は、「10~19人」「20~50人」規模は今期を上回り、「1~4人」「5~9人」規模は水面下ながら改善するとみている。

中分類業種別·従業員別動向 (業況判断D.I季調済)

業種別	前期の	今期	の業況	今期 予想	
業種合計	-22.2	-20.0		-21.3	
ガソリンスタ ンド・燃 料	-11	-2	(::)°	-14	-12
スポーツ用品・ 玩 具	-3	-9	(::)°	8	-7
家 電 · 家庭用機械	-23	-15		-25	-12
医薬品·化粧品	-11 \	-16		-13	
飲 食 店	-22 🔭	-17		-20	-15
木 材 · 建 築 材 料	-20 /	-18		-28	
飲食料品	-23	-21		-22	-17
繊維・衣服・ 身の回り品	-24 🏄	-23		-25	
自転車·自動車	-26	-27		-25	-24
家具・建具・じゅう器	-20	-30	To the state of th	-29	-30
書籍・文房具	-27	-31		-28	-28
カ メ ラ 時 計・眼 鏡	-50 ∤	-33		-42	-31
駅 周 辺	-19 ∤	-16		-17	-12
住宅地隣接	-27	-24		-26	-22
団 地 内	-20 🏄	-19		-21	-21
その他	-20 /	-17		-18	-15
1 ~ 4 人	-28	-26		-27	-24
5 ~ 9 人	-12 💆	-7	(::)°	-12	-4
10~19人	-2 /	1	(1.1)B	-2	8
20~50人	5	4	(::)B	10	11

(小数点第1位四捨五入)

サービス業

有効回答企業数 1,499先





業況、前期同様の厳しさ続く。

今期

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上は増減なく推 移し、収益は前期並の減少が続いた。

価格面では、料金価格はほぼ横ばいで、材料価格は やや上昇傾向を強めた。資金繰りは前期並の厳しさで、 人手は前期並の不足感が続いた。

経営上の問題点を見ると、上位の順位に変動はなく、第1位は「同業者間の競争の激化」(40%)、次いで「売上の停滞・減少」(33%)、「人手不足」(26%)の順となっている。

重点経営施策は、第1位は「販路を広げる」(41%)、次いで「経費を節減する」(38%)、「人材を確保する」(24%)となっている。

来期見通し

来期の業況は水面下ながら上向くとみている。売上額・収益ともに上向くと予想している。

価格面では、料金価格は変動なく推移し、材料価格は 落ち着きを見せると予想している。

<....業種別·規模別動向 ······→



業種別に見ると、「情報サービス・調査・広告」はわずかにプラスに転じ、「娯楽」は水面下ながら非常に大きく上向いた。「自動車整備・駐車場」は前期同様の厳しさが続き、「洗濯・理容・美容」はやや低調感を強めた。

来期は、「情報サービス・調査・広告」は今期を上回り、 「自動車整備・駐車場」「洗濯・理容・美容」は水面下なが ら上向き、「娯楽」は今期同様の厳しさが続くと予想して いる。

従業員規模別

従業員規模別に見ると、「50~100人」規模は前期並の良好感が続き、「10~19人」規模は多少良好感が強まり、「20~49人」規模はわずかに前期を下回った。「5~9人」規模は水面下ながら多少明るさが見え、「1~4人」規模は前期同様の厳しさが続いた。

来期は、「20~49人」規模は堅調に推移し、「5~9人」 規模は好転し、「10~19人」「50~100人」規模は今期並 の良好感が続くとみている。「1~4人」規模は今期同様 の厳しさが続くと予想している。

中分類業種別·従業員別動向(業況判断D.I季調済)

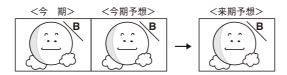
<u>~</u>+#□ ∧

業種別	前期の¦ 今期 業 況¦ 今期	の業況	· 今期 · 予想	¦ 来期 ¦ 予想
業種合計	-5.3		-4.1	-4.3
情報サービス・調査・広告		(::)°	5	5
娯楽	-28 -4		-23	-4
自動車整備・駐車場			-10	-7
洗 濯・理 容・美 容			-20	-20
1 ~ 4 人	_22 \ _23	(1) E	-21	-22
5 ~ 9 人	_4 / -2	(::)°	0	0
10~19人	9 7 12	:: B	11	12
20~49人	19 16		18	22
50~100人	19 \ 18	A A	18	19

(小数点第1位四捨五入)

建設業

有効回答企業数 1.113分



業況、前期並の良好感続く。



業況は前期並の良好感が続いた。売上額・収益は前期同様の増加が続き、受注残・施工高はやや増加傾向を強めた。

価格面では、請負価格は前期並の上昇が続き、材料価格はわずかに上昇が強まった。資金繰りは前期同様変わらず推移し、人手は前期並の不足感が続いた。借入難易度は前期同様の容易な状況だった。

経営上の問題点を見ると上位項目に変動はなく、第1位が「人手不足」(38%)、次いで「同業者間の競争の激化」(31%)、「売上の停滞・減少」(23%)の順となっている。

重点経営施策は、第1位が同率で「販路を広げる」 「経費を節減する」「人材を確保する」(いずれも41%)、 次いで「技術力を高める」(26%)の順となっている。

来期見通し

来期の業況は今期を上回ると予想している。売上額は 堅調に推移し、受注残・施工高・収益は今期同様の増加 が続くとみている。

価格面では、請負価格は今期並の上昇が続き、材料価格は落ち着きを見せると予想している。



業種別に見ると、「職別工事」「設備工事」はわずかに 良好感が強まり、「総合工事」はやや前期を下回った。

来期は、「職別工事」は強含み、「総合工事」は今期並の良好感で推移し、「設備工事」は増勢が一服すると予想している。

請負先別

請負先別に見ると、「中小企業請負」はやや良好感が強まり、「個人請負」はわずかにプラスに転じ、「大企業請負」「官公庁請負」は大きく好調感が後退した。

来期は、「中小企業請負」「個人請負」は好調感が強まるとみている。「大企業請負」「官公庁請負」は今期同様の良好感が続くと予想している。

従業員規模別

従業員規模別に見ると、「5~9人」規模は前期並の良好感が続き、「10~19人」規模はわずかに前期を下回り、「20~49人」「50~99人」規模は大きく増勢が後退した。「1~4人」規模は水面下ながらやや明るさが見えた。

来期は、「10~19人」「20~49人」「50~99人」規模は 良好感が強まり、「5~9人」規模は今期並の良好感が続き、「1~4人」規模は水面下ながら上向くとみている。

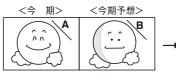
中分類業種別·従業員別動向(業況判断D.I季調済)

業種別	前期の 業 況	今期	の業況	今期 予想	来期 予想
業 種 合 計	13.3	13.2	(::)B	14.7	15.3
職別工事	8 7	10	(1.1)B	15	18
総合工事	14	. 11	(::)B	12	11
設備工事	19 /	' 21	(î î	20	19
大企業請負	37	31		39	32
官公庁請負	35	25	(î,î)A	29	24
中小企業請負	7	10	(::)B	10	13
個 人 請 負	-3 /	1	()°	-2	4
1 ~ 4 人	_9 ×	-5		-5	-2
5 ~ 9 人	15	16	(::)B	14	15
10~19人	25	. 22	(î î î	27	27
20~49人	39	32	(în)	37	34
50~99人	51	33		52	38
100~300人	64	62	(în)	56	56

(小数点第1位四捨五入)

不動産業

有効回答企業数 578先





業況、やや好調感強まる。

今期

業況はやや好調感が強まった。売上額は幾分堅調に 推移し、収益はかなり好調さを強めた。

価格面では、販売価格・仕入価格ともにやや上昇傾向を強めた。

資金繰りは前期同様変わらず、在庫はわずかに不足 感が改善した。

経営上の問題点を見ると上位項目に変動はなく、「同業者間の競争の激化」(41%)、「商品物件の不足」(32%)、「大企業との競争の激化」(23%)、「商品物件の高騰」(22%)の順となった。

重点経営施策は、「情報力を強化する」(50%)、「販路を広げる」(33%)、「経費を節減する」(30%)、「宣伝・広告を強化する」(29%)の順となった。

来期見通し

来期の業況は今期並の良好感が続くとみている。売 上額・収益は伸び悩むと予想している。

価格面では、販売価格は上昇が弱まり、仕入価格は落ち着きを見せると予想している。

◄······ 業種別·規模別動向 ······▶



業種別に見ると、「建売・土地売買」「不動産代理・仲介」ともにやや良化した。

来期は、「建売・土地売買」は今期を上回り、「不動産 代理・仲介」は増勢が一服するとみている。

従業員規模別

従業員規模別に見ると、「5~9人」規模は幾分良好感が強まり、「1~4人」規模はわずかにプラスに転じ、「10~29人」規模はかなり軟調に推移した。

来期は、「5~9人」「10~29人」規模は今期を下回り、「1~4人」規模は今期同様変化なく推移するとみている。

地域別

地域別に見ると、「都心」「副都心」「南部」は大きく好調感が強まり、「西部」はやや良化し、「都心近接」は大幅にプラスに転じた。「多摩」は前期同様の良好感が続き、「東部」はわずかに増勢が後退し、「北部」は前期をかなり下回った。

来期は、「都心」「副都心」「北部」は強含み、「南部」 「多摩」は今期並の良好感が続くとみている。「都心近接」「東部」「西部」は今期を下回るとみている。

中分類業種別·従業員別動向(業況判断D.I季調済)

業種別	前期の 業 況	今期	の業況	今期 予想	来期 予想
業種合計	8.0 🗸	* 10.6	() A	9.0	9.6
建売·土地売買	12	* 15	(î,î)A	13	17
不動産代理 ・ 仲 介	5	9	(1.1)B	7	5
1 ~ 4 人	-1 /	7 3	(1.1)B	1	4
5 ~ 9 人	18	* 23	(î,î)A	18	18
10~29人	29	22		30	20
30~300人	30	4 3		25	27
都心	2	* 16		2	19
副 都 心	10	* 22		10	24
都 心 近 接	-5	7 9	(1.1)B	-3	2
東部	9	x 7	(1.1)B	8	2
西部	16	2 0		24	17
南部	4	* 13		7	14
北部	10	2	(1.1)B	7	5
多摩	8	. 7	(::)B	10	7

(小数点第1位四捨五入)

製 造業

[好調な企業、努力が実っている企業の例]

- ①印刷業を外注にしたため、輸送費削減につながり、昨年度より 収益が増加した。 (印刷、立川市、5名)
- ②当社の主力であるドライブレコーダーは受注も順調であり、あと 数年はこの状況である予想。後は後継者をどの様にしていくか が課題である。 (電子部品、港区、22名)
- ③IoTの促進のため、半導体関連受注が急増している。大手電 気メーカーより毎日のように納期確認の問い合わせが来ている。 (電源・リレー、八王子市、80名)
- ④今期、車関連の受注増加により下半期大幅な増収・増益となった。 (精密バネ、小平市、3名)
- ⑤レーザー複合機を入れたため、受けられる仕事が増加した。こ こで取引先の業種を増やす努力をしている。

(精密板金、あきる野市、10名)

- ⑥デジタル部門があることにより様々なデータ作成を取り扱うことが 可能となり、リピーターが増加した。 (印刷・製本、品川区、20名)
- ⑦格安ブランドとの住み分けがされつつあり、売上は回復しつつ (衣類、江戸川区、5名)
- ⑧昨年導入した最新の3Dプリンタにより、幅広くお客様の要望に 応えられるようになり、今期は売上増加を見込んでいる。

(歯科技工所、豊島区、16名)

⑨新商品の開発を積極的に行っている。中国を中心に販売が好 調で、来期の売上は増加する見込み。

(オーディオ関連グッズ、西東京市、8名)

- ⑩売上・受注共に増加傾向。新たな人員確保をし、効率よく運営 することが必要。 (めっき加工、町田市、7名)
- ①役員、従業員への権限移譲はできており、社長が不在であって も事業の継続は十分可能な組織体制が整っている。

(電気機械器具、府中市、120名)

②主要取引先からの年間受注が昨年に比べて1.5倍ほど増加し ており、売上も増加している。今後主要取引先以外の販路も広 げ、安定した経営に努めたい。 (金属プレス、三鷹市、8名)

[業況に苦心している企業の例]

- ①材料価格の値上がりが利益率に影響してしまっている。経費 (麺類、立川市、10名) 削減をして改善を図っていきたい。
- ②同業他社との競争が激しく、利幅が縮小する中、経費の削減 により収益を確保している状況。 (印刷、品川区、4名)
- ③受注はやや増加したが、製品の種類も増え、生産が追い付い ていない状況。 (スプリング、江戸川区、3名)
- ④少子化により業界全体が低迷しており、事業継続も今後の課題。 (ビニール玩具、葛飾区、7名)
- ⑤人手不足は相変わらずである。街を歩くと、若者は何の仕事を しているのか不思議に思う。 (紙工機械、足立区、12名)
- ⑥仕事が減ってきているのは事実。工期が長い現場が増えてくる と、資金繰りが大変だ。何とかしたいとは考えている。

(ガラス・サッシ、北区、1名)

- ⑦販売先からの値下げ要請、人件費の増加等により収益は減少 傾向である。 (合成樹脂加工、板橋区、15名)
- ⑧昨年大規模な設備投資を実施したが、その効果が十分発揮 できていないため、専門家の下で合理化を進めている。

(自動車等部品、府中市、79名)

- ⑨仕事量が激減しており非常に厳しい。仕事が海外にとられて 今後も厳しい。 (半導体、武蔵野市、2名)
- ⑩海外からの部品調達には先行する決済資金が必要であり、資 金繰りも大変である。 (光学熱学分析器、三鷹市、14名)
- ①仕入原価が上昇したことで、収益性が悪化している。他社との競 合もあり、売上を増やすことも難しい。(電子機器、新宿区、4名) ⑫仕入高の増加分を売上に反映できていない状況で厳しい。

(特殊バルブ、多摩市、4名)

卸売業

[好調な企業、努力が実っている企業の例]

①現状安定しており経済状況も良いと考えている。

(食品、多摩市、22名)

- ②建設業の業況が良くなってきているように感じる。オリンピック特 需もある。 (菅工材、品川区、9名)
- ③補助金の制度を取引先に提案する等、付加価値をつけて営業 している。 (機械器具、八王子市、8名)
- ④長年の業歴から、安定した受注を受けている。他社にはないス ピーディな対応で評判が良い。 (建築資材、練馬区、3名)
- ⑤受注は順調に増加。人手不足についてはパートを採用するな どして対応している。 (ベルト製造、江戸川区、9名)
- ⑥仕入れ価格の上昇を販売価格に上乗せできているので、今の ところ問題ない。 (金属、あきる野市、6名)
- ⑦家族中心の経営であるが、従業員と協力して運営しており、 学校の他、取引先からの信頼を維持している。

(鶏肉、足立区、19名)

- ⑧社長の強力なリーダーシップに加え、長男・長女が経営に関与 しており、事業は安定している。 (宝飾部品、葛飾区、30名)
- ⑨インターネット販売により顧客数が増加した。今後もインターネッ ト販売を強化していく。 (酒類、新宿区、10名)
- ⑩地域での認知度が高く、各種展示会にも積極的に出展してい る。ホテル仕様のタオル類を高品質かつ低価格で提供している。 (タオル、練馬区、9名)
- ①半導体市況が良く、前期に引き続き高水準の売上を確保でき ており、事業は安定している。 (伝導機器、千代田区、31名)
- ②取引先の機械設備の受注が増えてきている。

(包装資材、千代田区、6名)

[業況に苦心している企業の例]

①少子化の影響が毎年出てきている。今後の対策が必要。

(学校用衣服、青梅市、9名)

②賃上げ等により、利幅がどんどん少なくなっている。

(包装資材、東久留米市、8名)

- ③ネット販売における販売価格のダンピングが深刻である。効果 的な対策があれば知りたい。 (木製玩具、台東区、5名)
- ④従業員確保・若手スタッフ人材育成に苦労している。現状の 役員・スタッフにより売り上げを維持している。

(表具、杉並区、6名)

- ⑤主要仕入れ先が東北地方であり、震災以降風評被害で売上 が大幅に減少している。 (食肉、立川市、4名)
- ⑥小売店の廃業等の影響が大きく、売上が減少している。
 - (雑穀、葛飾区、4名)
- ⑦取引基盤はしっかりしているが、ネットの台頭で見積もりだけで 終わってしまう新規見込み客が多い。

(建築資材·器具、板橋区、6名)

⑧自然災害等、外的要因に足を引っ張られているが、オリジナル 商品で利幅を確保しようと努力中

(アウトドア用品、練馬区、5名)

⑨大手輸送会社の値上げにより、コストの増加と販売先の利便 性低下が一番の問題となっている。

(文具事務用品、武蔵村山市、14名)

⑩物流コスト増加に伴う収益悪化が懸念。

(医療用飲食料品、日野市、170名)

①仕入価格の上昇による影響が大きいため解決策を検討したい。 (建築資材、西東京市、5名)

⑫エンジンの新規販売ではなく、メンテナンスの売上が増加して いる。買換えや更新等の設備投資の実感はない。

(エンジン、大田区、16名)

小 売 業

[好調な企業、努力が実っている企業の例]

- ①メディアの取材がよく来ている。最近ではインターネット番組での取 材があり、今後も積極的に受ける予定。(総菜パン、荒川区、5名)
- ②立地が良く、売上は好調。大手コンビニエンスストアのフランチ ャイズ店で知名度もある。新年度も売上は増加していくと思わ (コンビニエンスストア、港区、3名)
- ③大手コンビニエンスストアのフランチャイズ店を2店舗経営。立 地も良く比較的売上は安定している。最近はバイトの短期退職 (コンビニエンスストア、北区、2名)
- ④修理の仕事が増えてきている。来期は小売りの方も増えてくれ ばと考えている。 (電器、三鷹市、3名)
- ⑤個性的なメニューを開発したことにより売上が増加する見込み。 (居酒屋、世田谷区、11名)
- ⑥経営を楽しむことを意識していると、自然とお客様が集まってく る様になった。何事も無理せず続けられるよう頑張りたい。

(化粧品、品川区、3名)

⑦ネット販売を強化する等、積極的な経営を行っている。小売業 界では売り方が売上を左右する時代になっている。

- (米、目黒区、11名) ⑧フードコートやショッピングモールへの新規出店により、財務内 容が改善されている。 (飲食店、八王子市、90名)
- ⑨地元のお客様を中心に、スポーツに関する情報を提供し、売上 アップを図っている。 (スポーツ用品、町田市、3名)
- ⑩海外(アジア)の市場が良くなり、売上が増加。一時的なものか もしれないので、今後慎重に対応する必要がある。

(化粧品、福生市、30名)

- ①通信販売の強化により、従来よりも遠方のお客様が増加している。 (居酒屋、新宿区、50名)
- (2)パソコンの出張サービスなども行うなど販売・修理だけではない アフターケアにも力を入れている。 (家電、中野区、1名)

[業況に苦心している企業の例]

- ①商品のラインナップを少しずつ変える工夫をしているが、60歳 以上の来店客が多く、定番商品の購入が多いため売上に寄 与していない。 (洋品·洋服、葛飾区、1名)
- ②競合他社が多く、あまり業況は良くない。商品の配置換えや店 内を明るくすることで増客を見込む。

(コンビニエンスストア、港区、2名)

③コンビニ業界は現在飽和状態が続いており、他店舗とどのよう に差別化を図っていくかが問題である。

(コンビニエンスストア、葛飾区、2名)

- ④地域に密着した商売を展開しているが、大型店との競争激化 ならびに近隣団地の建て替え及び商店街の集客力低下により 厳しい業況が続いている。 (食肉、北区、1名)
- ⑤車両価格の高止まり、カーシェアリングの広がりで、特に若年層の 車離れが経営に悪影響を及ぼしている。(自動車、板橋区、3名)
- ⑥全国に配送しているが、場所によっては利益がないところも発 生してしまう。 (家具、足立区、2名)
- ⑦中元歳暮については商品の多様化やディスカウントストア等の 台頭により売上が伸び悩んでいる。 (和菓子、世田谷、5名)

⑧固定客の利用が多いが、客単価の減少が見られる。

(ドラッグストア、調布市、20名)

- ⑨インターネット販売、カード決済が悩みの種。差別化を検討中。 (化粧品、小平市、2名)
- ⑩小売はネット販売・ネット決済に押されている。今後販売に付加 価値をつけるとともに、決済サービスも時代に合わせる必要が (建築金物、福生市、7名)
- ①医薬品の販売チャネルが拡大し、売上は減少傾向が続いてい る。事業規模の縮小も必要か。 (医薬品、中野区、10名)
- ⑫電子書籍の台頭による売上の減少が顕著に表れており、業況 は厳しい。 (書店、杉並区、5名)

サービス業

[好調な企業、努力が実っている企業の例]

①地域行事に積極的に参加しており、知名度を上げる努力をし ている。安定した売上が確保できている。

(自動車整備、品川区、6名)

- ②紹介を通じて顧客増加中。業況はまずまず。
- (クリーニング、練馬区、5名) ③従業員には最大のパフォーマンスをしてもらえるように勤務時 間の配慮を行っている。 (運輸、八王子市、16名)
- ④ガソリン代が高騰しているが、取引先への単価交渉により収益 は維持できている。従業員の確保・育成が課題である。

(一般貨物運送、三鷹市、72名)

⑤従業員の労働条件の改善に力を入れている。特に労働時間の 適正化に取り組んでいる。

(産業廃棄物中間処理·運搬、足立区、48名)

⑥少しずつ業況は明るくなってきている。販管費を抑えた利益確 保をしていきたい。

(コンピュータデータ入力業務、西東京市、5名)

- (7)ネット・スマートフォンアプリ等を利用した新しいサービスを始め、 売上を確保していく。 (クリーニング、立川市、8名)
- ⑧ 不採算店舗の閉店といった思い切った施策を実行した。考え ていたより売上減少は少なく、社員のみんなに感謝。

(クリーニング、東大和市、13名)

- ⑨医療·IT関連の人材派遣が好調。
- (人材派遣、青梅市、53名) ⑩価格交渉が取引先とスムーズに進んでおり、景気の回復を感じ ている。 (クリーニング、町田市、4名)
- (1) 新規事業を始めて、少しずつ軌道に乗り始めている。ビジネス チャンスがあれば新しいことに挑戦していきたい。

(建物管理、あきる野市、10名)

[業況に苦心している企業の例]

- ①若い人々は美容室に、中年は格安理髪店に行く流れがあり、一 般の理容室の経営は大変。 (理容、目黒区、2名)
- ②年明け1~2月は天候・インフルエンザ等によりキャンセルが多く、 売上が減少した。 (エステサロン、杉並区、2名)
- ③引続き人手不足・高齢化が課題。今後の人材確保が事業継続 (一般貨物輸送、八王子市、20名) の絶対条件となる。
- ④当社の業況は例年通りだが、国内外の株式市場の暴落や海 外の紛争等を考えると、景気の先行きに不透明感があり、不安 を覚える。 (空調設備保守点検等、文京区、35名)
- ⑤自動車の進歩の速さに整備がついていくのが大変。
- (自動車整備·販売、国分寺市、7名) ⑥1月の降雪の影響で前年に比べ売上が減少。社会保険料の負 担が大きく、収益の確保が難しくなってきている。

(美容室、昭島市、3名)

⑦人員不足のため、特に若手のドライバーの育成と確保ができ るように働きかけていきたい。

(個人向け食品宅配、立川市、27名)

- ⑧野菜の高騰により材料の仕入れコストが増加。収益を圧迫して (産業給食·学校給食、日野市、7名)
- ⑨震災事業が3月に終了するため、売上が落ち着く見込み。
- (区画整理等の補償コンサルタント、多摩市、25名) ⑩人員の確保が難しい。人員が足りないため、受注を断るケース
- (警備、福生市、5名) ①店舗の周りにライバル店舗が増えてきているのが気になる。

(理容、武蔵村山市、3名)

8

建設業

[好調な企業、努力が実っている企業の例]

- ①少ない人員であることから、全員で営業推進をしており、連携 が図られている。 (総合建設、葛飾区、7名)
- ②業況は順調に推移している。パート・アルバイト従業員への指 導・管理もしっかりと行えている。

(養生・クリーニング・雑工事、八王子市、9名)

- ③地域でセミナーを開き、地元での認知度を上げようと努力して いる。 (建築請負、日野市、7名)
- ④メインである関連会社からの受注と官工事の受注、またエンド ユーザー(個人)からの直接受注のバランスが良いため、売上 に大きな変動がなく安定している。 (総合建築、立川市、5名)
- ⑤受注状況は盛況。人材の確保がうまくできれば、増収増益は可 能。数年の見通しは良好。 (断熱工事、練馬区、64名)
- ⑥大口物件ばかりでなく小口物件も動きつつあるので、業況が回 (建設、大田区、20名) (7) 引続き鉄道のホームドア設置工事等大型受注があり、売上は
- 安定している。 (総合機械設置工事、品川区、21名)
- ⑧オリンピックを前に受注は堅調。人材の育成も行い、早期に戦 力となるようにしたい。 (土木建築工事、世田谷区、68名)
- ⑨獲得した受注を外注に出さないことで粗利の改善を図り、増収 増益。2年先までは好景気が続く。(道路工事、目黒区、15名)
- ⑩固定客を中心に受注しており、現在は安定。しかし外注先等の 確保が難しい。 (屋根工事、町田市、3名)
- ①徐々にではあるが、企業の設備投資も増えてきており、受注は 増加すると考えている。材料費の高騰を懸念。

(総合工事、青梅市、15名)

②異業種交流会等に積極的に参加し、人脈を広げて売上につな げている。 (給排水·衛生設備工事、中央区、14名)

[業況に苦心している企業の例]

- ①受注工事が小口化しており、資金繰りに注意が必要。大口工 事の獲得が当面の課題。 (総合工事、立川市、11名)
- ②工期の延期等、予定通りに進まないことで資金繰りがタイトな状 況が続いている。 (空調設備工事、練馬区、8名)
- ③前社長である会長の影響が未だ大きく、世代交代ができてい (セキュリティ販売・施工・メンテナンス、日野市、9名)
- ④受注は途切れず現場は多数あるものの小口受注が多く、経費 が増加傾向にある。 (タイル工事、板橋区、4名)
- ⑤材料価格の上昇傾向が気になる。2~3%ぐらい変動するので 価格転嫁しにくい面がある。

(砂利販売·産廃処理、大田区、8名)

- ⑥ネットを使って地方業者が東京に進出するケースが続いてお り、価格競争が一層激しくなっている。(建設、世田谷区、4名)
- ⑦他社もかなり安い金額で工事しており、収益を圧迫されている。 (塗装、目黒区、5名)
- ⑧直近は積雪や人材不足の影響もあり、売上が伸び悩んでいる ため、打開策を模索している。(建設足場組立、町田市、26名) ⑨オリンピック後の景気の行方がつかめない。資材が高騰して

いるため、仕入に負担がかかっている。

(型枠·鉄筋、府中市、29名) ⑩業況は安定しているものの、利幅の縮小が予想され、今後の対 応が必要となってくる見通しとなっている。

(型枠工事、府中市、29名)

①ロードサイドの仕事が減り、ターミナル立地の仕事が増え、夜間 作業が多くなり従業員の健康が心配だ。

(商業施設の設計施工、台東区、18名)

(2)マンション・シェアハウス等改修工事の受注があるが、天候不 順、人手不足で工期が迫っている。業界のネットワークを通じて 乗り切りたい。 (リフォーム、中野区、1名)

不動産業

[好調な企業、努力が実っている企業の例]

①不動産の需要は高く、買いたいという声はたくさんあるので売 りたい人を見つけていきたい。

(不動産仲介·管理、大田区、12名)

- ②仲介件数は増加。建売は回転が早いが仕入れの際には採算 が合う物件を中心に検討する。過剰在庫にならないよう対応し (建壳·土地壳買、立川市、10名)
- ③利益の小さな物件を数多く販売し、売上と収益を確保している。 (不動産賃貸、板橋区、2名)
- ④不動産業好調のあおりを受け、管理物件の取扱いも好調。

(不動産賃貸·管理、豊島区、9名)

⑤相続の発生等、ビジネスチャンスとなる情報が即時に入るようネ ットワークを構築しており、商売につなげている。

(不動產代理·仲介、葛飾区、2名)

- ⑥今期も決算は順調。商品物件として収益物件(アパート)が多 く、利益率は高い。 (建売、武蔵野市、14名)
- ⑦地価上昇とともに需要も高く、景気の上昇を実感しているとのこと。 (不動産売買、北区、3名)
- ⑧近隣の同業者間の競争が激しくなっている。商品物件の仕入 れは地元の物件だけでなく、やや遠方の先からも行うことで売 上利益を確保している。 (不動産売買、西東京市、5名)
- ⑨大手との競争が激しい中で道路沿いの事務所のため、一定の 客数が来店している。 (不動産仲介、武蔵村山市、2名)
- ⑩地域の開発が少しずつ進み、物件が高騰しているため、早期

売却できる物件の確保を優先している。 (建壳·土地壳買、東久留米市、1名)

(1)デッドストックを持ちすぎないよう営業活動に努めている。

(不動産賃貸、杉並区、5名)

②売上も少しずつ増えている。大きな取引もあり引続き地元を中 心に営業していく。 (不動産仲介·管理、世田谷区、3名)

[業況に苦心している企業の例]

- ①インターネットの普及で対面営業だけではお客様のニーズに対 応できなくなってきている。 (不動産仲介、立川市、3名)
- ②商品不足が深刻。都心の業者が価格の安い足立区に進出し ており厳しい。 (建売·土地売買、足立区、1名)
- ③不動産管理・仲介業務の他、不動産競売物件のとり扱いを一 昨年前より行っているが、事業規模の範囲内で購入及び収益 が上がる物件が乏しい。 (不動産代理・仲介、大田区、2名)
- ④都内のエリアによっては仕入価格が高くなりすぎており、利益を 出しにくい。 (建売·土地売買、目黒区、2名)
- ⑤不動産価格の上昇により、取り扱う物件を見定めるのに苦労し ているが、情報を活用して現状維持に努めている。

(土地·建物売買、練馬区、3名)

- ⑥相談案件は多くあり、忙しいが、不動産価格が高止まりしており 売買につながらない。 (不動産仲介、板橋区、2名)
- ⑦物件価格が高止まりしており、なかなか物件を仕入れられない。 (不動産売買、豊島区、3名)
- ⑧商品物件の価格が高騰しており、新しい管理物件を購入でき (不動産仲介·管理、武蔵野市、3名)
- ⑨中古マンションが高騰しており、仕入がしづらくなっている。 (マンション・オフィス賃貸、新宿区、12名)
- ⑩不動産価格の上昇により、仕入れ値が上昇。物件仕入れの情 報の選別をしっかりと行う必要がある。

(建壳·土地壳買、港区、7名)

①地価が上昇しており、仕入が難しい。

(不動産代理·仲介、江戸川区)

②物件価格がエリア内にて高騰傾向にあり、なかなか買い手が 見つからないという仲介業者が多い。

(不動產代理·仲介、渋谷区、5名)

都内中小企業景況調査

業況、売上額、収益、価格動向

※ ≉	女個	[は:	全て著	季節変	变動詞	周整剂	斉D.I	値				(予想値)													(予想値)
製	造	業	28/3	28/6	28/9	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	卸	売	業	28/3	28/6	28/9	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6
業		況	-12.8	-11.9	-11.8	-9.3	-9.2	-7.4	-6.0	-4.5	-2.3		業		況	-10.7	-11.7	-13.7	-14.9	-12.7	-9.0	-6.6	-6.7	-6.3	
予		想	-6.5	-10.8	-10.6	-9.7	-7.9	-7.4	-7.1	-4.6	-2.2	-0.2	予		想	-7.6	-8.1	-10.7	-10.1	-11.5	-8.2	-7.9	-5.0	-2.9	-2.2
売	上	額	-8.5	-6.7	-7.6	-5.5	-5.4	-5.0	-3.3	-0.8	0.3		売	上	額	-5.1	-7.2	-9.2	-12.0	-8.8	-4.2	-3.2	-1.3	-3.3	
予		想	-1.9	-5.9	-5.4	-4.6	-2.8	-2.5	-4.2	-1.5	1.9	3.0	予		想	-0.8	-4.0	-6.0	-4.2	-5.4	-1.2	-2.0	1.3	2.8	3.8
収		益	-11.7	-10.4	-9.4	-7.3	-7.3	-6.5	-4.5	-2.9	-2.3		収		益	-7.5	-9.9	-9.0	-10.8	-9.5	-5.8	-4.8	-3.2	-3.4	
予		想	-5.3	-9.1	-8.9	-7.4	-5.6	-5.0	-6.7	-3.6	-1.7	-0.6	予		想	-4.1	-6.3	-8.5	-6.0	-6.4	-4.1	-5.0	-2.2	0.8	2.5
販売	 も価	格	-3.9	-4.1	-4.4	-3.0	-2.5	-3.2	-2.1	-1.5	0.3		販売	€価	格	2.7	-2.5	-1.2	-1.0	1.6	0.0	2.3	3.2	4.0	
予		想	-1.7	-3.9	-4.1	-4.0	-2.1	-1.7	-2.7	-1.7	-1.2	-0.4	予		想	5.0	0.5	-2.6	-0.7	-0.3	0.0	-1.6	2.9	3.3	4.2
原材	料個	格	13.8	11.5	10.7	11.3	13.0	12.7	13.4	15.1	18.7		仕ノ	人価	格	17.1	12.5	9.4	11.8	13.8	11.8	12.3	14.0	17.9	
予		想	14.9	10.1	9.3	9.4	9.9	11.6	10.4	11.6	13.5	16.4	予		想	18.3	11.7	9.8	6.7	10.9	10.1	9.6	11.5	12.3	15.0

											(予想値)												((予想値)
小	売 業	28/3	28/6	28/9	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	ı	サービ	ごス業	28/3	28/6	28/9	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6
業	況	-25.2	-27.0	-26.8	-24.8	-24.7	-25.6	-21.2	-22.2	-20.0			業	況	-10.7	-12.7	-12.8	-10.3	-8.4	-6.9	-5.2	-5.3	-6.0	
予	想	-23.9	-24.4	-26.5	-25.3	-24.1	-22.7	-24.5	-20.2	-21.3	-17.5		予	想	-8.7	-9.6	-10.5	-9.9	-6.5	-6.6	-6.0	-4.4	-4.1	-4.3
売	上額	-20.5	-21.6	-20.5	-18.1	-19.2	-20.4	-17.0	-17.6	-15.3			売」	L 額	-7.8	-10.5	-8.3	-5.8	-5.5	-4.0	-2.1	-3.1	-3.0	
予	想	-17.4	-18.2	-19.8	-18.0	-15.9	-15.8	-18.4	-14.2	-15.4	-11.6		予	想	-3.3	-3.7	-6.7	-4.7	-3.3	-2.7	-2.7	-1.8	-0.1	0.4
収	益	-21.9	-21.6	-21.3	-20.6	-21.9	-20.9	-17.8	-19.2	-16.5			収	益	-9.2	-11.2	-10.7	-8.7	-7.0	-7.1	-4.7	-5.8	-5.2	
予	想	-18.6	-19.0	-20.3	-18.8	-17.8	-18.3	-18.8	-15.2	-16.5	-13.2		予	想	-5.1	-6.3	-8.0	-7.5	-4.4	-4.1	-5.8	-3.5	-2.7	-0.7
販	 売価格	-1.4	-2.6	-2.7	0.0	0.0	-2.0	-0.2	0.5	2.1			料金	価格	-1.7	-2.4	-2.0	-1.9	-3.0	-2.4	-1.6	0.9	0.5	
予	想	1.9	-2.5	-3.0	-2.5	-0.4	-2.4	-1.7	1.0	0.3	0.5		予	想	0.0	-1.8	-2.1	-1.5	-1.1	-2.9	-2.3	-1.6	0.1	-0.3
仕	入価格	11.2	9.0	9.2	13.3	12.5	8.9	9.8	11.5	13.2			材料	価格	9.2	8.0	8.5	9.5	8.8	7.8	8.1	9.0	13.5	
予	想	11.6	7.4	7.5	7.2	10.1	8.1	7.4	9.3	9.8	9.9		予	想	10.1	8.0	7.5	7.8	8.0	7.1	8.6	7.7	9.1	10.3

												(予想値)												(予想値)
建	設	業	28/3	28/6	28/9	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	不動	産業	28/3	28/6	28/9	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6
業		況	7.3	6.8	7.9	10.4	11.0	10.8	11.6	13.3	13.2		業	況	0.4	3.0	-0.5	6.0	5.6	5.2	4.1	8.0	10.6	
予		想	13.5	7.7	8.9	10.3	11.7	11.3	8.7	12.1	14.7	15.3	予	想	0.0	3.0	-1.9	0.0	5.8	4.5	3.6	4.6	9.0	9.6
売	上	額	9.5	8.5	9.0	12.2	10.9	10.7	12.0	13.5	13.3		売 _	上額	0.5	5.5	2.2	6.1	7.4	5.2	6.6	9.6	12.7	
予		想	12.3	9.1	10.7	9.0	13.8	10.6	8.5	11.7	12.9	15.3	予	想	4.1	3.4	0.2	3.2	5.7	6.6	2.7	3.5	9.6	10.8
収		益	3.1	3.9	4.7	5.2	5.4	5.8	6.5	6.8	7.1		収	益	2.5	3.1	1.3	4.2	4.2	3.7	4.0	5.7	11.6	
予		想	4.5	2.8	3.8	4.8	7.1	4.8	2.0	4.8	5.6	6.1	予	想	0.4	1.3	-1.5	1.0	3.4	4.2	1.9	1.4	6.8	9.4
請	負価	格	4.8	3.1	2.8	3.9	4.8	3.7	4.5	5.2	4.8		販売	価格	5.8	4.1	3.9	6.6	5.4	5.4	5.2	10.6	13.5	
予		想	6.4	4.2	4.1	1.7	2.8	3.6	2.2	3.8	5.3	4.6	予	想	5.7	4.5	4.2	3.6	4.2	2.4	2.4	3.0	9.6	8.9
材	料佃	格	29.1	22.7	21.9	20.5	24.6	23.0	21.0	24.3	26.3		仕入	価格	16.5	15.9	14.4	18.1	16.1	14.5	15.6	19.1	21.2	
予		想	27.0	23.6	19.8	17.9	18.9	20.2	19.1	18.4	22.2	23.2	予	想	15.5	14.7	14.1	13.3	15.9	11.0	12.3	11.5	16.3	15.0

特別調査「経営者の健康管理と事業の継続について」(平成30年3月上旬調査)

①回答企業の代表者の年齢層・代

i. 代表者の年齢層

ii.代表者の代

|本|

②代表者の1週間の労働時間・健康診断の頻度

i. 代表者の一週間の労働時間

ii.代表者の健康診断の頻度

③代表長期不在時の事業継続と機能低下・悪化

i. 代表長期不在時の事業継続

ii.代表長期不在時の機能低下·悪化

④代表者長期不在時に事業を代行しうる者

⑤代表者のストレス解消法

「60歳代」30.5%、「70歳代」27.9% 「2代目」45.2%、「創業者」40.8%

[40時間以上60時間未満]49.5%、[60時間以上80時間未満]24.3% 「1年に1回以上180.1%、「2~4年に1回113.0%

「通常通りの業務継続が可能」49.5% 「営業機能や販売機能の低下」36.2%

「役員·従業員(親族以外)」30.7%、「子供」19.4%

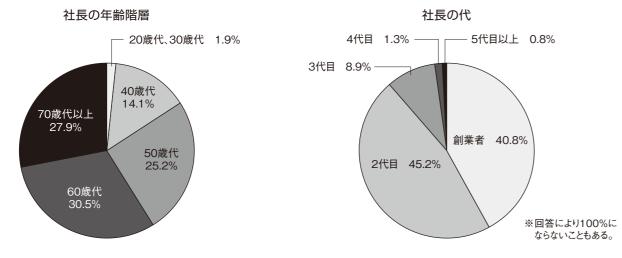
「趣味・娯楽(運動・スポーツ以外) | 34.3%、「家族とのふれあい | 32.2%

問1. 回答企業の代表者の年齢層・代

都内の中小企業を対象とした、回答企業の現代表者の年齢層と創業からの代については以下の通り。

まず代表者の年齢層については、回答割合の高い順に「60歳代」30.5%、「70歳代以上」27.9%、「50歳代」25.2%、「40歳 代 | 14.1%、「20歳代、30歳代 | 1.9%となり、60歳以上が全体の約6割を占めた。

次に、代表者の創業からの代については、回答割合の高い順に「2代目」45.2%、「創業者」40.8%、「3代目」8.9%、「4代目」 1.3%、「5代目以上 | 0.8%となった。



業種別に見ると、代表者の年齢層については、製造業・卸売業・サービス業・不動産業の4業種では、回答割合の高い順に 「60歳代」「70歳代以上」「50歳代」「40歳代」「20歳代、30歳代」の順となった。これら4業種に対し、建設業では高い順に「60 歳代」「50歳代」「70歳代以上」「40歳代」「20歳代、30歳代」、同様に小売業では「70歳代以上」「60歳代」「50歳代」「40歳 代」「20歳代、30歳代」の順となった。

次に代表者の創業からの代については、製造業・卸売業・小売業・建設業については、回答割合の高い順に「2代目」「創業 者」「3代目」「4代目」「5代目以上」となった。これに対して、サービス業・不動産業については、「創業者」「2代目」「3代目」「4代 目」「5代目以上」となった。

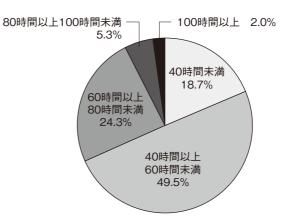
従業者規模別で見ると、代表者の年齢層について従業者規模が大きいほど「70歳代以上」との回答割合が低くなる傾向が 見られた。

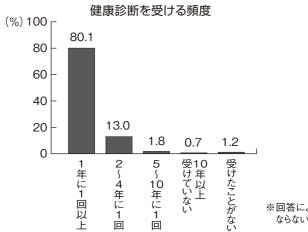
問2. 代表者の1週間の労働時間・健康診断の頻度

都内の中小企業を対象に、各企業の代表者の1週間の労働時間と健康診断の頻度について調査した。

まず代表者の1週間の労働時間については、回答割合が高い順に「40時間以上60時間未満」49.5%、「60時間以上80時間 未満」24.3%、「40時間未満」18.7%、「80時間以上100時間未満」5.3%、「100時間以上」2.0%となった。次に、代表者の健康 診断の頻度については、回答割合の高い順に「1年に1回以上」80.1%、「2~4年に1回」13.0%、「5~10年に1回」1.8%、「10年 以上受けていない」0.7%であった。なお「受けたことがない」は1.2%であった。

1週間あたりの労働時間





※回答により100%に ならないこともある。

業種別に見ると、代表者の1週間の労働時間については、全業種に共通して「40時間以上60時間未満」の回答割合が最も 高かった。製造業・卸売業・小売業・サービス業・建設業の5業種では、2位以下は「60時間以上80時間未満 | 「40時間未満 | が 続き、不動産業のみ「40時間未満」「60時間以上80時間未満」の順となった。

次に代表者の健康診断の頻度については、全業種で回答割合の高い1位・2位は「1年に1回以上 | 「2~4年に1回 | の順とな っており、これら2項目の合計はいずれの業種でも9割を超えた。

従業者規模別で見ると、代表者の1週間の労働時間については、従業者規模にかかわらず「40時間以上60時間未満」が最 も高く約5割を占め、代表者の健康診断の頻度については「1年に1回以上 |が最も高く約8割~9割を占めた。

問3. 代表者長期不在時の事業継続と機能低下・悪化

都内の中小企業を対象に、各企業の代表者が何らかの理由で1か月程度不在となった場合に、どの程度業務を継続できる か、またそうなった場合に心配される各社の機能の低下や悪化についてうかがった。

まず代表者の長期不在時の事業継続については、回答割合が高い順に「通常通りの業務継続が可能」49.5%、「主要業務 に限り継続可能 | 24.1%、「大幅に業務を縮小した上で継続可能 | 9.3%、「業務継続は不可能(休業、廃業) | 7.9%となった。な お「わからない」は9.1%であった。

次に、代表者の長期不在時の各社の機能の低下や悪化については、回答割合が高い順に「営業機能や販売機能の低下」 36.2%、「心配していない」25.5%、「生産機能や仕入機能の低下」10.0%、「資金繰りの悪化」7.2%であった。なお「わからな い」は20.1%であった。

業務継続 わからない 9.1% 業務継続は不可能 (休業、廃業) 7.9% 通常通りの 業務継続が可能 49.5% 主要業務に限り 継続可能 24 1%

大幅に業務を縮小した上で継続可能 9.3%

心配される機能の低下や悪化

わからない 20.1% 営業機能や 販売機能の低下 36.2% 心配していない 25.5% ※回答により100%に ならないこともある。 資金繰りの悪化 7.2% 生産機能や仕入機能の低下 10.0% -

業種別に見ると、代表者の長期不在時の事業継続については、全業種に共通して「通常通りの業務継続が可能」「主要業 務に限り継続可能」が回答割合の上位1位、2位となった。

次に、代表者の長期不在時の各社の機能の低下や悪化については、全業種に共通して「営業機能や販売機能の低下」 「心配していない」が回答割合の上位1位、2位となった。

なお、代表者の長期不在時の事業継続・機能の低下や悪化の両設問において、「わからない」との回答割合が最も高かった のはいずれも小売業であった。

従業者規模別で見ると、代表者の長期不在時の事業継続については、「通常通りの業務継続が可能」との回答割合は従業 者規模が大きくなるほど高くなる傾向が見られた。

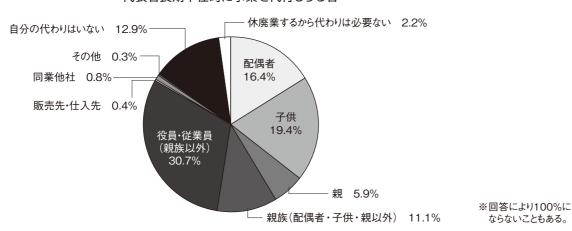
代表者の長期不在時の各社の機能の低下や悪化については、「心配していない」との回答割合は、従業者規模が大きくな るほど高くなる傾向が見られた。

問4. 代表者長期不在時に事業を代行しうる者

都内の中小企業を対象に、各企業の代表者が何らかの理由で1か月程度不在となった場合に、代表者の事業を代行できる人がいるかについてうかがった。

その結果、回答割合が高い順に「役員・従業員(親族以外)」30.7%、「子供」19.4%、「配偶者」16.4%、「自分の代わりはいない」12.9%、「親族(配偶者・子供・親以外)」11.1%、「同業他社」0.8%、「販売先・仕入先」0.4%、「その他」0.3%であった。なお「休廃業するから代わりは必要ない」は2.2%であった。

代表者長期不在時に事業を代行しうる者



業種別に見ると、製造業・卸売業・建設業・不動産業の4業種では、回答割合の高い上位1位・2位は「役員・従業員(親族以外)」「子供」となり、小売業では「配偶者」「子供」、サービス業では「役員・従業員(親族以外)」「配偶者」となった。

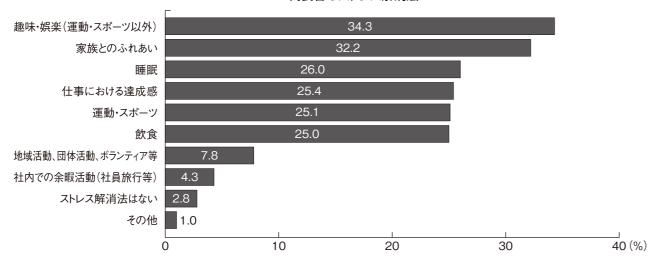
従業者規模別では、従業者規模が大きいほど「子供」との回答割合が低くなり、「役員・従業員(親族以外)」との回答割合が高くなる傾向が見られた。なお30人以上の従業者規模の企業で「休廃業するから代わりは必要ない」との回答はなかった。

問5. 代表者のストレス解消法

都内の中小企業を対象に、代表者のストレス解消法についてうかがった(最大3項目)。

その結果、回答割合が高い順に「趣味・娯楽(運動・スポーツ以外)」34.3%、「家族とのふれあい」32.2%、「睡眠」26.0%、「仕事における達成感」25.4%、「運動・スポーツ」25.1%、「飲食」25.0%、「地域活動、団体活動、ボランティア等」7.8%、「社内での余暇活動(社員旅行等)」4.3%、「その他」1.0%であった。なお「ストレス解消法はない」は2.8%であった。

代表者のストレス解消法



業種別に見ると、製造業・卸売業・サービス業・建設業・不動産業の5業種では、回答割合の高い上位1位・2位は「趣味・娯楽 (運動・スポーツ以外)」「家族とのふれあい」となり、小売業では「家族とのふれあい」「趣味・娯楽(運動・スポーツ以外)」となった。

従業者規模別では、従業者規模が大きくなるにつれて「仕事における達成感」の回答割合が高くなる傾向がわずかながら見られた。その他従業者規模による違いは特段みられない。

全国の景況

全国の中小企業の景況は、前期(10-12月期)と比較して上向いた地区はなく、北海道、東北、北陸、南九州で大きく悪化した。 業種別では、不動産業において改善が見られた。

各業種別で、前期に比べ大幅に改善した地域は

製 造 業:なし サービス業:南九州 卸 売 業:なし 建 設 業:四国

小 壳 業:北海道、首都圈 不動産業:首都圏、北陸、中国、四国、北九州、南九州

	東	全	北海	東	関	首都	北	東	近	中	匹	北九	南九
	京	国	道	北	東	圏	陸	海	畿	国	玉	州	州
全業種合計(DI)	-4.2	-2	-7	-18	-1	-1	-17	0	3	-2	-9	6	3
製 造 業	(12)	(::)°		1.1.E	(::)°	(:)	7:)E	(::)%	(::) B	(::)°	(i)	(::)B	(i)
卸 売 業	(ii)	1:1 ^k			(i)	(1)					1:1 ^E	El::	(i)
小 売 業	:: "	(i)						1100					
サービス業	(ii)	(13)			(::)°			(ii)			TO E		:: B
建設業	::} B	(1) B	(::) B	(i: I)	(ii)	(::) *	(i) (i)	(1) B	(1) B	* ::13	::]	[::]}	(, , ,) A
不動産業	A A	(in) A	(::) ⁸		?::\ B	A A	:: B	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	() A	,,,	() A	(; ; ;) A	A CARACTER STATE OF THE STATE O

(注)業種別の景況感を地域別に比較して作成してあります。

データは信金中央金庫が調査したものを使用し、一般社団法人東京都信用金庫協会が作成しております。

日銀短観

[業況判断]

(「良い」ー「悪い」・%ポイント)

			2017年	12月調査		2018年	3月調査	
			最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大	企	<u>:</u>	業					
製	造	業	26	21	24	-2	20	-4
非	製 造	業	25	20	23	-2	20	-3
全	産	業	26	21	23	-3	20	-3
中	堅	企	業					
製	造	業	20	15	19	-1	14	-5
非	製造	業	20	14	21	1	16	-5
全	産	業	19	15	20	1	15	-5
中	小	企	業					
製	造	業	15	11	15	0	12	-3
非	製 造	業	9	4	10	1	5	-5
全	産	業	11	7	11	0	7	-4
全	規模	<u></u>	計					
製	造	業	19	15	18	-1	15	-3
非	製造	業	15	9	15	0	11	-4
全	産	業	16	12	17	1	12	-5

(参考)事業計画の前提となっている想定為替レート(大企業・製造業) (円/ドル) 2017年度 2018年度 上期 下期 上期 下期 2017年12月調査 110.18 110.70 109.66 - - - - - - 2018年3月調査 110.67 110.95 110.40 109.66 109.63 109.68

調査対象企業数

(2018年3月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	4,110社	5,910社	10,020社	99.3%
うち大 企業	1,013社	920社	1,933社	99.6%
中堅企業	1,064社	1,753社	2,817社	98.9%
中小企業	2,033社	3,237社	5,270社	99.4%
金融機関	_	_	210社	99.5%

<回答期間> 2月26日 ~ 3月30日

(注) 1.回答率=業況判断の有効回答社数/調査対象企業数×100 2.判断項目において、「最近 | は回答時点を、「先行きは3か月後を示す。 「最近 | の変化幅

2判断項目において、「最近」は回答時点を、「先行き」は3か月後を示す。「最近」の変化幅は、前回 調査の「最近 |との対比。「先行き |の変化幅は、今回調査の「最近 |との対比(以下同じ)。

[売上高·収益計画]

(前年度比・%)

		2017年度		2018年度	
		(計画)	修正率	(計画)	修正率
	製造業	4.7	0.5	1.4	_
	国内	3.9	0.0	1.5	_
大 企 業	輸出	6.3	1.8	1.3	_
	非製造業	4.7	0.5	0.7	_
	全産業	4.7	0.5	1.0	_
	製造業	3.9	-0.1	2.2	_
中堅企業	非製造業	2.2	0.0	2.1	_
	全産業	2.6	-0.1	2.2	_
	製造業	2.6	0.5	1.1	_
中小企業	非製造業	1.5	0.7	0.0	_
1 3	全産業	1.8	0.6	0.2	_
	製造業	4.2	0.4	1.5	_
全規模合計	非製造業	3.1	0.4	0.8	_
	全産業	3.5	0.4	1.0	_

(注)修正率・幅は、前回調査との対比

[需給·在庫·価格判断]

(%ポイント)

	2	2017年1	2月調査		2018年	3月調査	
中小企業		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
	表材業種 0工業種	-13 -17 -9 -14	-14 -18 -11 -17	-9 -15 -6 -13	4 2 3 1	-12 -16 -9 -16	-3 -1 -3 -3
常安山川	業 長材業種 瓜工業種	-7 -11 -4	-7 -11 -4	-3 -7 0	4 4 4	-4 -9 -1	-1 -2 -1
(F) D () F == D ()	業 長材業種 瓜工業種	10 12 7		8 10 7	-2 -2 0		
	業 長材業種 瓜工業種	10 15 6		9 13 5	-1 -2 -1		
	₹材業種 0工業種	0 6 -6 0	2 11 -5 2	3 10 -3 1	3 4 3 1	6 15 -1 2	3 5 2 1
	表材業種 0工業種	32 37 30 24	37 41 34 27	39 44 36 24	7 7 6 0	42 46 38 28	3 2 2 4

調査の「最近」との対比。「先行き」の変化幅は、今回調査の「最近」との対比(以下同じ)。

)

東京都2月の企業倒産

1.概況

東京都内の企業倒産は112件発生し、4か月連続で前年同月を下 回った。負債額の合計は220億円であった。前月対比では、件数は9 件減少し、負債額は98億円増加した。また前年同月対比では、件数 は55件減少し、負債額は47億円増加した。

(単位:件・億円)

	T-400/F00	平400年4日	T-100/500				
	平成29年2月	平成30年1月	半成30年2月 	前月比	前年同月比		
件 数	167	121	112	△9	△55		
金 額	173	122	220	98	47		

2.原因別倒産動向

(単位:件・億円 千万円以下は切捨て)

放漫経営		過少資本		他社倒産の余波		既往	のしわよせ	販売不振		
10 71		3	5	5	2	11	26	77	105	
売掛金	売掛金等回収難		等回収難 信用性低下		在庫状態悪化		設備投資過大		その他	
2 5		0	0	0	0	1	1	3	1	

3.業種·規模別倒産動向

(単位:件・億円)

		件 数		金 額			
	前年同月	前月	当月	前年同月	前月	当月	
製造業	18	13	11	8	11	29	
卸売業	36	24	26	38	18	45	
小売業	11	15	11	5	26	14	
サービス業	11	9	5	9	7	1	
建設業	16	9	11	10	4	8	
不動産業	9	4	5	16	2	1	
情報通信業·運輸業	23	20	16	33	24	77	
宿泊業・飲食サービス業	10	10	7	3	11	1	
その他	33	17	20	45	14	36	
合計	167	121	112	173	122	220	

※金額の億円未満は切り捨て表示の為、合計と一致しない。

4.地域別倒産動向

地区別の倒産件数は、中央区が14件(負債額は約59億円)発生し て最も多く、次いで港区が10件(負債額は約3億円)発生している。

5.大口倒産動向

当月の主な大口倒産は、以下の通り

170工370PE18(27) 70270									
企業名	所在地	業種	負債総額						
翼システム(株)	江東区	システム開発ほか	61億円						

(注) データは東京都産業労働局「東京の企業倒産状況」((株)東京商工リサーチ調べ)を使用し、 一般社団法人東京都信用金庫協会が作成しております。

(件数) 2.607 億円 180 ************ 負債額 倒産件数 億円 160 -800 140 700 139件 136件 135件 130件 120 -600 121件 112件 100 --500 432 億円 80 --400 60 -300 220 億円 -200 40 169 億円 20 100 122 億円 12 2018/1 2017/9 10 11

●スポット君判断表 業種別定点指標値

			A A	.: B	(- <u>·</u>)°	(i) P	E C		G
		****	4.5.4.5	~~~~	w	w			
製	造	業	20以上	19~10	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31以下
卸	売	業	20以上	19~10	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31以下
小	売	業	10以上	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31~△40	△41以下
サ -	ービス	く業	15以上	14~5	4~△5	△6~△15	△16~△25	△26~△35	△36以下
建	設	業	20以上	19~10	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31以下
不	動産	業	10以上	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31~△40	△41以下

好調

不調

※上記マークの基準は業況判断D.I季節調整済修正値で判断します。

●地域区別表

都 心	千代田区・中央区・港区	副都心	新宿区・文京区・渋谷区・豊島区
都心近接	台東区・荒川区・墨田区	東 部	江東区・足立区・葛飾区・江戸川区
西部	杉並区・世田谷区・中野区	南 部	大田区・品川区・目黒区
北 部	板橋区・練馬区・北区	多摩	都下市・郡部

回答事業所数の規模別内訳

(単位:事業所数・%)

											(+12	手未川奴*/0/
業種		莫別	有効回答 事業所数	4人以下	5~9人	10~ 19人	20~ 29人	30~ 39人	40~ 49人	50~ 99人	100~ 199人	200~ 300人
製	造	業	2,815	40.4	21.1	17.3	8.3	3.6	2.6	4.7	1.7	0.4
卸	売	業	955	38.8	25.4	17.6	7.1	3.4	1.5	4.2	2.0	0.0
小	売	業	1,830	74.6	13.2	5.5	2.2	0.9	1.1	2.4	0.0	0.0
サ	ービス	業	1,499	47.7	16.5	12.1	7.1	4.1	3.1	5.5	3.9	0.0
建	設	業	1,113	34.8	27.9	19.9	7.6	3.3	1.4	3.8	0.9	0.4
不	動産	業	578	62.1	21.8	10.0	3.5	0.7	0.9	0.7	0.2	0.2
業	種	計	8,790	49.3 (4,334)	20.1 (1,764)	13.8 (1,216)	6.3 (553)	2.9 (251)	2.0 (175)	3.9 (346)	1.5 (136)	0.2 (15)

調査方法·対象と回収状況

1.調查機関 一般社団法人東京都信用金庫協会 業務部地域支援課

1.調査方法 信用金庫営業店から企業へ聴取

1.調査時期 30年1~3月期を対象に30年3月上旬に実施

1. 実施状況 8,924 事業所数

未回収事業所数 134

(内訳) 倒産·廃業 59 調査拒否 事 業 転 換 5 6 取引解消 15

7 2 業 不在が続く 16 その他 24

1.有効回答事業所数 8,790 有効回答率 98.50%



東京都よろず支援拠点のご案内

よろず支援拠点は国が各都道府県に1か所設置する経営相談所で、売上拡大・販路開拓など、 中小企業・小規模事業者の皆様の各種相談に対し、中小企業支援の経験豊富な専門家が無料で 助言・支援を実施するものです。

◆実施機関:一般社団法人東京都信用金庫協会

用:無料

象:東京に事業所(支店、工場含む)を持つ事業者(中小企業、小規模事業者、創業予定者等)様

◆相談窓口: <場所①>新橋事務所(港区新橋1-18-6 共栄火災ビル1階)

相談日時:月曜日~金曜日 9:30~12:00、13:00~17:00

<場所②>BusiNest(東大和市桜が丘2-137-5 中小企業大学校東京校東大和寮3階)

相談日時:月曜日~金曜日 9:30~12:00、13:00~17:00

◆ご連絡先: 03-6205-4728 (両相談窓口共通)

編集·発行

一般社団法人東京都信用金庫協会 業務部地域支援課

〒104-0031 東京都中央区京橋3-8-1 信用金庫会館 京橋別館12階 TEL(03)6228 - 8557FAX (03) 6228 - 8871 印刷烘三修

